

会 議 録

1 会議名

平成 29 年度第 6 回津有区地域協議会

2 協議事項（公開・非公開の別）

(1) 協議事項について（公開）

1. 活動団体との意見交換会について
2. 町内会長との意見交換会について
3. 雄志中学校との意見交換会について
4. 視察研修について

3 開催日時

平成 29 年 9 月 28 日（木）午後 6 時 30 分から午後 7 時 15 分まで

4 開催場所

津有地区公民館 中会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：江平幸雄、太田政雄、小熊勇治、塩坪貞雄（副会長）、中嶋博、服部香代子
古川昭作、保坂和彦、丸山常夫、宮越隆一、山菅節子、吉崎則夫（会長）
(欠席 2 人)

- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【田中主事】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、成立を報告

【吉崎会長】

- ・ 挨拶

【田中主事】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【吉崎会長】

- ・会議録の確認者：小熊委員

議題「(1) 協議事項について」の「1、活動団体との意見交換会について」について事務局に説明を求める。

【田中主事】

- ・資料No.1により説明

【吉崎会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

次に「2. 町内会長との意見交換会について」事務局に説明を求める。

【田中主事】

- ・資料No.2により説明

【吉崎会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

次に「3. 雄志中学校との意見交換会について」事務局に説明を求める。

【田中主事】

- ・資料No.3により説明

【吉崎会長】

今の説明に質疑を求める。

【宮越委員】

私は、去年は参加してしないのだが、活発に意見が出たとか、3区合同の地域協議会の意見交換はどんな雰囲気だったか教えてほしい。

【吉崎会長】

前半の中学生との意見交換は生徒たちの取組の内容を聞いたり、生徒から見た地域の活性化についての意見を出してもらい、良い内容だったと思う。後半の3区の協議会の意見交換については、去年は委員になって半年くらいということもあり、地域協議

会のことがまだよく分かっていなかった。そのため、地域協議会を運営していく中で
の課題を持ち寄って、意見を交わしたという感じである。

他の区ではどうやっているのかというところは参考になったと思う。

【保坂委員】

補足だが、10月7日に上越市の中学校22校が集まり、各校の青少年育成協議会の発表
会がある。市長が出るかどうかは分からないが、教育長も参加し、最後に講評を行う。
津有区の雄志中学校の皆さんは、それを基にして11月18日に発表をするということ
である。

【中嶋委員】

私も昨年、意見交換会は欠席だった。津有区、諏訪区、高士区の3区にまたがる提案
に係る議題もあるという話も聞いたが、津有区としての意見をまとめるため、事前に
話をしておいたほうが良いと考える。個々に意見を出すというの大事なことだが、ま
とめるところまで行かないと思う。

【宮越委員】

何で、そういう話が出てきているのか、聞きたい。

【田中主事】

経緯を説明する。高士区でも津有区と同様、100万円程度予算を超過して提案が出た
状況であった。その中で出た話として、雄志中学校区の3区にまたがる提案を高士区だ
けが不採択とした場合、その提案はどうなるのかということに心配される委員もいた。
例えで出た話だが、高士区だけ落とした場合に、雄志中学校にいる高士区の子供たち
に何か影響が出たらどうするのかと懸念している。そのような見解で出た意見で、3区
にまたがる提案は、他の区ではどのように考えているかを今回聞きたいということ
である。

【山田センター長】

今年度は、3区にまたがる提案はセパタクローと雄志中学校の野球部、雄志太鼓があ
った。雄志太鼓は年々金額も多くなってきているので、今後も単発で上がってくるの
はどうかということである。例えば、青少年育成会議が窓口になって雄志中学校に絡
む部活動や雄志太鼓等をトータルで年次計画を立て、申請する等のやり方がよいので
はないか。各団体がそれぞれ提案を出してくると、提案が増えるばかりであり、今後
も増えてきた場合に採択どうするのか、ということを高士区では心配されていたとい

うことである。

【吉崎会長】

事務局の説明を踏まえて、質疑はあるか。

【中嶋委員】

個々に意見を言ってよいのか。若干の方向性があれば話が前に進むかもしれない。議題を提案していただいたが、津有区の中で全ての委員が意見を出し、出すだけで終わりならそれでもよいかもしれない。

【宮越委員】

3区の意見交換会はいつから始まったのか。また、今後も続けていくのか。

【田中主事】

雄志中学校のワークショップは3か年計画の最後の年であり、今年度が節目の年になるため、意見交換会は今年度が最後になるかもしれない。ただ、希望する意見が多ければ継続し、あまり声がなければ別のかたちで行うのか、行わないかを今後検討していく必要がある。

【吉崎会長】

今、言えることは次に開催するかどうかは、11月18日に各地区の話を聞きいてみて、今後もやってもよいということになれば、開催することになるかもしれない。3区の状況を確認しながらというかたちになるかと思う。ちなみに、ワークショップは3年間だけなのか。

【田中主事】

過去にも行っていたが、ワークショップをテーマにしたのは一昨年からである。

【宮越委員】

事務局からも話があったが、地域活動支援事業に3区にまたがり提案した議題が必要だと思う。1区が不採択で他2区は採択した場合は重要になってくると思う。その辺の調整の仕方によっては、今後も意見交換会が必要になってくると思う。

【小熊委員】

補助金の話は、去年の意見交換会ではしなかったか。

【吉崎会長】

去年はしていない。今回は、その辺の話をしたいということで高士区から要望があったようなので、今回はその話になろうかと思う。

【塩坪副会長】

セパタクローはどうなったか。

【田中主事】

セパタクローについては、諏訪区のみ採択しており、事業は計画どおり行っている。

【塩坪副会長】

中学校単位で提案することは駄目だと言えないので、個人的に各地区に提案を出すということになると生徒の学校区に関わり、今回のような話になってくる。

【吉崎会長】

今後も3区で審議していかなければいけない提案について、意見交換会までに話ができればよいと思う。

【保坂委員】

雄志太鼓を地域の人を巻き込んで、岩の原葡萄園の収穫祭や、高土区でも披露しているし、津有区でも諏訪区でも披露して貢献している。提案の中身によって、3地区の人と関わっているかどうかの視点で、3区で協力することが一番無難だと思うので、一概には言えない。セパタクローは中心になっているのは諏訪区なので、温度差があることによってそのような結果になったとは思っている。

【吉崎会長】

皆さんがご審議いただいた内容を踏まえて、採択したと思うし、津有区としてのスタンスは今後、変えなくてもよいのかなと思っている。結果的には雄志中学校からの提案については採択できたと思うので、津有区のスタンスは3区の意見交換でお伝えできればよいと思う。他に意見等はあるか。

(発言なし)

これで雄志中学校との意見交換会については終了する。次に、「4. 視察研修について」事務局に説明を求める。

【田中主事】

・資料No.4により説明

【吉崎会長】

我々が協議会委員になってからは、まだ研修のイメージが掴めなかったが、1年半経って、やりたいことが分かってきたと思う。自主的審議に関係する所を見てくるか、視察をしてから自主的審議の内容を決めるかの2通りになると思う。個人としての考え

では、自主的審議の内容を決めてから関係する所に視察に行けたらよいと思う。その辺を含めて、皆さんの意見を聞きながら決めていきたいと思う。委員に意見を求める。

【服部委員】

前期にて、4回のうち2回しか行けなかった。確かに視察に行き、頑張っているなどという感想を持つが、それを津有区でどれだけ反映できるかを考えると随分力が必要だと感じた。皆で行って、感動して帰ってくるとは思っているのだが、それを委員と一緒に何か行動に移せるかというというのは、すぐには無理だと思う。他の所がやっていることを見聞きするだけでも勉強にはなるが、津有区は南部と北部にも分かれているので、少し難しいと思う。

【吉崎会長】

服部委員の感想を踏まえて、意見はあるか。

【太田委員】

今月、津有地区地域づくり協議会の視察研修で村上市に25人で行ってきたが、活発で非常に驚いた。服部委員の言われたようにそれを津有区でどういうふうにするかという難しい問題である。視察研修先は、遠くまで行かなくても地域のなかでもいろいろなことをやっている人はいる。視察に行き、どう活かすかは非常に難しいと感じた。

【中嶋委員】

私も昨年と今年、津有地区地域づくり協議会の視察研修に参加したが、頑張っているとは思いますが、それを津有地区に上手く当てはめたらどうなるのかと考えるところまでいかないような視察であった。廃校の上手な利用の参考例だったので、津有地区でのものはなかなか見い出せなかった。役員さんが選んで連れて行ってくださるので、こういうところもあるんだなとは思えるが、なかなか津有地区に結びつくところまで至らないので、視察場所の選定は難しいと思う。

【吉崎会長】

今話を聞いて、ただ行っても目的や課題を持っていかないと、なかなか難しいと思った。自主的審議の内容が固まってから、それに則した視察先を今後考えていったほうがよいと思うが、そのような感じでよいか。今年度は視察を行わずに来年度に向けて自主的審議の内容をしっかりと決め、それに沿った視察先を考えていくということにさせていただきたいと思う。今回は事務局から紹介してもらったが、目的に沿った

視察先に行かせてもらうことにするが、よろしいか。

(よいとの反応)

その他、次回の日程について決める。

— 日程調整 —

・次回の協議会：11月9日（木）午後6時30分～

本日の議題は終了した。何か意見等あるか。

(発言なし)

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690（直通）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。